



令和7年度春期 情報処理技術者試験

IT ストラテジスト 講評

【総評】

午前Ⅱ試験では、新規問題や過去問題からの出題割合などは例年通りでした。午後Ⅰ試験は、事例企業や自治体のより具体的な取組内容が中心となる問題構成でした。午後Ⅱ試験は、オーソドックスなテーマでしたが、問題文の設定や設問要求が細かいものがありました。試験対策用に準備した事例をそのまま論文に適用するのではなく、問題文の内容をしっかりと把握し、設問要求に準じて解答することが求められました。

【午前Ⅱ】

経営に関する用語を含んだ知識問題があり、解きにくいと感じた受験者も多かったかと思います。しかし、問題文の記載内容から解答を推測できる問題や、基本的な知識で解答できる問題もありました。過去問題を着実に解答し、新規問題では消去法や一般的な知識などを活用しどれだけ正解を導けたかがポイントになりました。

【午後Ⅰ】

問1が新たなビジネス領域の開拓、問2が子育て支援の強化、問3が新規サービス立上げと、題材となっている企業・自治体も想像しやすい問題でした。狙い、ニーズ、理由、目的、成果など、ITストラテジストとして把握しておくべき要素を問う設問でした。解答を制限字数内にまとめるテクニックが必要とされる設問も見られました。

＜午後Ⅰ問題テーマ＞

- 問1 スタートアップ企業におけるITを活用した新たなビジネス領域の開拓
- 問2 ITを活用した子育て支援の強化
- 問3 ドラッグストアにおけるITを活用した新規サービス立上げ

【午後Ⅱ】

午後Ⅱ試験は、問1は基幹システムの刷新方針の策定、問2はDXの企画策定がテーマでした。オーソドックスなテーマであったため、試験対策用に準備していた事例の中に出題テーマに合ったものがあったのではないかと思います。問題文にある設定や誘導を正しく把握した上で、設問イ、設問ウを論述するために必要な概要や背景などの情報を、設問アで適切に解答できたかがポイントとなりました。

＜午後Ⅱ問題テーマ＞

- 問1 基幹システムの刷新方針の策定について
- 問2 DXの企画策定について

以上

この講評の著作権はTAC(株)のものであり、無断転載・転用を禁じます。